

### 第3回議会報告会質疑応答記録（概要）

平成24年10月26日（金）午後7時から 広丘地区

#### ◎委員会報告

##### 経済建設委員会

###### Q1 市民

・勤労青少年ホーム及び体育センターの条例の一部改正について、指定管理者制度に移行する説明があった。目的は業務の効率化とコストダウンかと思うが、移行のタイムスケジュールは。管理者は何年間続けられるのか

###### A 西條議員

・専門的感覚で運営するための制度で4月から行う

###### A 永井議員

・市が直接管理しなくてもいいものを移行している。移行時期は、平成25年4月1日から、勤青ホーム、大門駐車場とも5年間である。12月に、業者が決まり議会に諮られる。

#### ◎意見交換会

###### Q2 市民

・昨年の議会で、区に加入して下さいとの条例ができたが、条例を作っただけでいいのか。

###### A 議長

・この条例は強制力はないので地域で協力してほしい。

###### Q3 市民

・ペナルティも無いようなものを作るのはどうか。

###### Q4 市民

・広丘東・西通線の進捗状況について、西通線についてはなかなか進んでいない現状である。生活道路であるため早く実践に移してもらいたい。広丘の区長会も議員とともに積極的に要望を行政側に伝えていきたい。また安心して通学路としても使っていきたい。今後の状況をお知らせいただきたい。

###### A 西條議員

・はしご状の都市計画道路である。ようやく、塩原整形東から歯科大学、湯の木の坂までできた。現状では平出遺跡から国道19号までつながっている。早くできるように交渉しているところである。

###### A 永井議員

・西と東の話があったが、西の進捗率は33%で26年に国道とつながる。東の進捗率は26%で、この冬85メートル延長の予定。

###### Q5 市民

・議会では視察を行っているが視察先の選定方法は。また報告の方法は。

## A 議長

・視察は常任委員会と会派の2通りある。交通費と宿泊費のみで飲食代は含まれない。視察終了後に報告書をまとめて議長に提出し決裁され、ホームページにも掲載している。また議会事務局に来れば閲覧することができる。

## Q6 市民

広丘のまちづくりについて。(意見)

・昨年から勉強会で議論をし、分科会、プロジェクトでも研究している。今後、第2回まちづくりの会議をしていく。「短歌のまち広丘」が基本である。まちづくり計画で「短歌のまち」とすることに決めたが、それでいかに売り出すか。駅舎も商店街もそのような景観に整備されている。道も短歌館に続くまち。広丘地区館の改築の話が進めば、建物は短歌に合う雰囲気になりたい。ぶどうの郷ロードレースも短歌館までつながるルートにしたいと提案している。歌人の太田瑞穂や若山喜志子などの生き様をPRするなど「短歌のまち広丘」を出していきたい。広丘として方向付けをしたい。

ふれあいセンターについて(意見・質問)

・ふれあいセンター広丘の計画は、旧桔梗荘跡地に市内の北である広丘や片丘を主体としてふれあいセンター洗馬に匹敵する規模のものを望んでいる。個性ある休憩室を作るなど、特色ある物を作ってはどうか。認知症の拠点ということにしていくとも聞かすが、市の意見が統一されてない印象を受け、不信感も感じた。場合によっては、ふれあいセンター広丘として違う場所でも良いとも思うが。

## A 永田議長

・広丘は人口も増加し、市内の市街地2つのうちの1つであると認識している。市の方向性は我々にも不明である。ふれあいセンター広丘については、是非地区をあげて取り組んでほしい。

## Q7 市民

- ① 新聞紙上でも賑わっている木質バイオマスについて、年間30万m<sup>3</sup>は何年続けられるのか。
- ② 広丘東・西通線の今後について、計画の場所がもしできないなら、できるところへ移動しても良いのではないかと。英断をお願いしたい。国や県に陳情する所があれば、区長や一般市民も連れて行ってほしい。九里巾の交差点について、市道の改良はどれくらいなのか。

### ① について

## A 永井議員

・片丘のかつての開発で情報大学誘致が計画されたが、学生数減少等を見込み頓挫した。その場所に今回の計画が浮上した。山の手入れはどこも大変な現状である。木材ランク ABCD の4段階のうちの CD ランクのものや端材(はざい)を使う。

事業費70億円のうち、発電関係は32億円。これから造成し27年供用開始の予定。

30万m<sup>3</sup>は、現在の長野県内の一年間の生産量に匹敵。山から材を出す点は、機械化によって効率化をはかる。市が土地を貸すのかどうか等も今後検討する。タービンからの蒸気の排熱を利用し福祉施設か農業に生かすかなど含め、これから具体的に道路や水の問題も検討していく。雇用としては現地関係で60~70人が見込まれる。

**A 永田議長**

- ・総事業費が70億円かかるが、市は出さない。国の補助である。
- ・30万㎡について、征矢野建材の考えでは、床材はアカマツの広葉樹が対象。発電は端材などを利用する。

**A 永井議員**

- ・電気の買取価格は、国が32円/kwhとして、20年間は変更しない見込みである。

**② について**

**A 永井議員**

- ・九里巾交差点について、接続する市道は国道の改良とうまくすればセットでできるが、研究が必要。
- ・西通線は、道路を作ることとともに、雨水排水の関係も出てくるので行政も検討中。
- ・九里巾交差点は事故が多いので、西友から佐川急便まで800メートルの間の改良が進んでいる。4車線に切り替えられるように用地買収が2割終わるところ。県議・区長等で国へ陳情している。
- ・交差点の部分ではPTAから陸橋の話も出たが、高齢者にとっては上り下りが大変なので平面交差とし、九里巾交差点は鋭角なので直し、市道は車道とあわせて広げていく。

**A 永田議長**

- ・九里巾交差点から高原通りは家が張り付いていて難しい。ところどころ空き地をみつけて、待避場をつくることも必要ではないか

**Q8 市民（意見）**

- ・報告会の資料はもっと詳しく作ってほしい。（例えば木質バイオマス）